

もうすぐ区長選

#子育て政策聞いてみた

候補者政策アンケート

区長選挙に際し、待機児童解をはじめとする子育て政策について、ご意見をお聞かせください。

平成30年10月27日
みらい子育て全国ネットワーク
希望するみんなが保育園に入れる社会をめざす会

候補者名：

ご本人のご署名いただけますと幸いです。

野沢哲夫

1. 待機児童について

新宿区ではH30年4月時点の待機児童数が25名と区から発表されています。しかし、認可外保育施設を利用する人や、特定園のみ希望している人、保護者が求職活動を休止した人の数はこの中に含まれておらず、さらに認可保育園の申込み自体を諦めている保護者も相当数いると言われており、待機児童には未だ多くの課題が残されていると考えられますが、待機児童についてのお考えや、区の待機児童対策についての具体的な提案をお聞かせください。

1-1. 待機児童を解消するためには現状の子育て政策で十分ですか。

はい。十分である。

いいえ。不十分である。

その他：理由をお書き下さい。 _____

1-2. 1-1で不十分もしくはその他与回答いただいた方に質問です。待機児童解消に向けて必要と思われる政策は具体的にどのようなものですか。

(目安文字数：150～200文字程度)

区の公表している待機児童数は4月時点で25名ですが、隠れ待機児童を含めると222名で、認可保育園は足りていません。新宿区はここ数年、民間ビルのフロアを活用した認可保育園を増やして来ましたが、当初の計画通り整備することができませんでした。民間任せにせず区立園も含めて増やしていくべきです。そのためには、未利用の公有地や民間の土地を積極的に活用して園庭もある認可保育園を増やしていきたいと思います。

2. 保育士の処遇改善、および業務の負担軽減について

保育士は他業種に比べ給与水準が低く、また日々の業務負荷が高いといったことから、資格を保有していながら保育士として働いていない潜在保育士が多く存在しており、各自治体／保育園では保育士の奪い合いといった状況になっています。

2-1. 保育の質と保育士の確保のために、保育士の処遇（給与や手当など）を改善することについて、考えをお聞かせください。また給与の引き上げを取り組みとして検討される場合は、どの水準まで引き上げるのが適切だとお考えですか。その場合は財源確保についてもお聞かせください。(目安文字数：150～200文字程度)

私立の保育士の待遇は他の業種と比べてもかなり低いことが社会問題になっています。かつては東京都が公私格差是正制度を実施し、公立並の水準を確保できるよう補助をしていました。本来は国が保育士給与の水準を定め、公立・私立を問わず必要な財源を国や都の責任で確保すべきで、この間、国や都も一定の処遇改善策を実施していることは承知しています。更に区独自の保育士確保策も、新宿区の財政力を活かして実施したいと考えます。

2-2. 使用済みのオムツ持ち帰り問題では、衛生面での問題に加え、保育士がオムツの仕分けをする負担があると言われていています。使用済みオムツ持ち帰り問題について、考えに近いものはどれですか。

園で処理した方が良い

保護者が持ち帰った方が良い

わからない

2-3. 2-2の回答について具体的な考えをお聞かせください。

(目安文字数：40～80文字程度)

衛生面と、保護者・保育士の負担軽減のため園で処理すべきで、豊島区、世田谷区は実施すると聞いています。区内ほとんどの私立園は実施しており、早急に全園実施すべきです。

2-4. 保育士の労働環境改善について、その他市として取り組みたいことがありましたらお聞かせください。（目安文字数：80～100 文字程度）

正規保育士の安い賃金や配置基準が実態に合っていないことが問題で、国に制度改善の要望をすると同時に、現場の声を聞いて家賃補助の拡大や区独自の正規保育士加算など実効ある対策を実施したいと思います。

3. 幼児教育無償化について

3-1. 現政権が2017年12月8日に閣議決定した2兆円規模の政策パッケージの中に幼児教育・保育の無償化（約8000億円）が盛り込まれました。この幼児教育・保育の無償化についてあなたの考えに近いものはどれですか？

- 無償化すべき
- 無償化よりも全入化
- 無償化に反対
- その他

3-2. 3-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。
（目安文字数：100～150 文字程度）

子どもは社会全体で育てるという理念から、無償化は当然（消費税率10%増税とリンクでなく）実施すべきです。同時に、「保育園に入れないと無償化の恩恵がない。」という声もあり、待機児童解消は早急に実現しなければならないと思います。

4. 学童について

現在、新宿区では学童クラブの他に放課後子どもひろば（放課後子どもひろば・ひろばプラス）があります。定員を超える受け入れが予測される学童クラブの近隣の小学校の放課後子どもひろばでは、通常の利用の他、出欠管理等、学童クラブの一部の機能を付加した「ひろばプラス」を実施しています。しかし、学童クラブと比して職員の資格・配置の基準が異なる、共働き家庭の子供たちが落ち着いて過ごす生活の場がない、館外活動がない、などの違いがあります。

4-1. 学童の定数を超えた受け入れ状況と待機児童解消に向けた施策について伺います。今後の方針についてあなたの考えに近いものはどれですか。

学童クラブの充実を進める

放課後子どもひろばの充実を進める

その他（理由： _____）

4-2. 4-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。

（目安文字数：100～150文字程度）

新宿区では「ひろば事業」も行っていますが、学童クラブの要望が多く、約9割のクラブが定員オーバーで待機児童も発生しています。学童クラブを急いで増設し、子どもたちが放課後を安心して過ごせる家庭的な環境を確保したいと思います。

5. その他子育て政策について

1～4の質問以外で、推進されている子育てに関する政策がありましたらお聞かせください。

（目安文字数：100～150文字程度）

小中学校の給食費無償化や、ひとり親家庭への支援強化、給付制奨学金の拡充など、子育て支援を保護者の声、現場の声をお聞きしながら進めていきたいと考えています。また、来夏を目標にすべての小中学校体育館にエアコンを設置したいと思います。

ご回答ありがとうございました。